

2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 ホソカワミクロン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6277 URL https://www.hosokawamicon.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 細川 悦男  
 代表執行役員  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 副社長執行役員 (氏名) 井上 鉄也 (TEL) 072-855-2225  
 管理統括兼経営戦略本部長  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績(2020年10月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	13,729	4.2	1,308	39.3	1,393	39.5	1,030	44.2
2020年9月期第1四半期	13,170	△6.5	939	△38.7	999	△36.8	714	△36.4

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 1,367百万円(△21.2%) 2020年9月期第1四半期 1,735百万円(ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	127.24	126.78
2020年9月期第1四半期	88.24	87.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	65,535	41,501	63.2
2020年9月期	65,180	40,575	62.1

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 41,403百万円 2020年9月期 40,456百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	55.00	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,000	△2.4	1,500	△19.8	1,500	△25.7	1,050	△14.0	129.74
通期	53,000	△0.9	4,000	△16.5	4,000	△20.1	2,700	△18.6	333.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年9月期1Q	8,615,269株	2020年9月期	8,615,269株
2021年9月期1Q	515,637株	2020年9月期	522,836株
2021年9月期1Q	8,095,141株	2020年9月期1Q	8,093,201株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大に伴う各国での経済活動の抑制によって停滞しております。米国においては、引き続き感染拡大が続いているものの、コロナ禍における一部の財への需要の高まりや、ゼロ金利政策の継続により株高が続いております。欧州においては、新型コロナウイルスの変異種による感染者の再拡大により、各国で人の移動やサービス消費の活動制限が延長・再強化されております。日本においては、欧州や中国向けを中心に輸出の回復がみられるものの、新型コロナウイルスの感染再拡大などをうけ、先行きに対する見方は慎重になっております。

このような経済環境の中、業績は総じて堅調に推移いたしました。

当第1四半期連結累計期間における受注高は171億5千4百万円（前年同期比7.0%の増加）、受注残高は309億7千4百万円（前年同期比19.9%の増加）、売上高は137億2千9百万円（前年同期比4.2%の増加）となりました。

利益面におきましては、営業利益は13億8百万円（前年同期比39.3%の増加）、経常利益は13億9千3百万円（前年同期比39.5%の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億3千万円（前年同期比44.2%の増加）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <粉体関連事業>

当事業は、粉砕・分級装置、混合・乾燥装置及び日本市場においての大気汚染防止装置、製品捕集用集塵装置、精密空調制御装置等の製造販売、複合ナノ粒子を中心とした新素材開発とその商品化並びに微粉体受託加工サービスを提供するホソカワミクロングループの主力分野であります。

世界中で加速する電動化に向けて旺盛な設備投資の続く二次電池を中心とした電子材料向けが堅調に推移しているほか、医薬や化学向けなど、各分野とも一様に底堅く推移しております。コロナ禍により減少がみられました受託加工事業も持ち直しの傾向がみられるようになってきました。

これらの結果、受注高は118億3千6百万円（前年同期比10.2%の増加）、受注残高は234億3百万円（前年同期比33.3%の増加）となり、売上高は101億5千7百万円（前年同期比1.4%の減少）となりました。セグメント利益は11億4千9百万円（前年同期比2.4%の増加）となりました。

#### <プラスチック薄膜関連事業>

当事業は、単層から多層の各種プラスチック高機能フィルム製造装置の開発・製造・販売を行っております。

米国向けはゴミ袋向けや多層のラミネーション用高機能フィルム製造装置など、欧州、アジア、南米向けには米国同様、ラミネーションフィルム用途のほか、バリアフィルム用の多層高機能フィルム製造装置など、多地域から多様な受注がありました。

これらの結果、受注高は53億1千8百万円（前年同期比0.6%の増加）、受注残高は75億7千1百万円（前年同期比8.6%の減少）となり、売上高は35億7千1百万円（前年同期比24.7%の増加）となりました。セグメント利益は4億2千1百万円（前年同期比258.5%の増加）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態については、前連結会計年度末に比べ、総資産は、現金及び預金や受取手形及び売掛金の増加などにより3億5千4百万円増加し、655億3千5百万円となりました。負債は、未払費用の減少などにより5億7千万円減少し、240億3千4百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加などにより9億2千5百万円増加し、415億1百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結会計期間及び通期の連結業績予想につきましては、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が不透明であることから、2020年11月13日に公表いたしました連結業績予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,445	16,747
受取手形及び売掛金	14,128	15,334
有価証券	1,999	—
製品	2,188	2,460
仕掛品	3,965	3,405
原材料及び貯蔵品	1,885	1,968
その他	1,126	1,065
貸倒引当金	△182	△180
流動資産合計	40,557	40,800
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,321	21,249
機械装置及び運搬具	11,863	12,001
土地	4,989	5,021
建設仮勘定	529	130
その他	2,335	2,406
減価償却累計額及び減損損失累計額	△18,357	△18,859
有形固定資産合計	21,681	21,949
無形固定資産		
のれん	184	183
その他	410	407
無形固定資産合計	595	590
投資その他の資産		
投資有価証券	1,418	1,291
繰延税金資産	769	766
その他	179	155
貸倒引当金	△20	△19
投資その他の資産合計	2,347	2,194
固定資産合計	24,623	24,734
資産合計	65,180	65,535

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,538	6,009
1年内返済予定の長期借入金	426	420
未払費用	2,543	1,776
未払法人税等	906	215
前受金	4,345	5,779
賞与引当金	525	148
役員賞与引当金	72	20
製品保証引当金	678	688
その他	1,988	2,239
流動負債合計	18,024	17,297
固定負債		
長期借入金	1,772	1,730
退職給付に係る負債	4,323	4,372
繰延税金負債	383	549
その他	100	85
固定負債合計	6,580	6,736
負債合計	24,605	24,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,496	14,496
資本剰余金	5,122	5,113
利益剰余金	28,719	29,305
自己株式	△2,399	△2,366
株主資本合計	45,939	46,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64	88
繰延ヘッジ損益	44	23
為替換算調整勘定	△4,949	△4,609
退職給付に係る調整累計額	△642	△647
その他の包括利益累計額合計	△5,483	△5,145
新株予約権	113	92
非支配株主持分	5	5
純資産合計	40,575	41,501
負債純資産合計	65,180	65,535

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2020年12月31日)
売上高	13,170	13,729
売上原価	8,442	8,889
売上総利益	4,727	4,840
販売費及び一般管理費	3,788	3,531
営業利益	939	1,308
営業外収益		
受取利息	16	6
受取配当金	7	7
持分法による投資利益	14	77
為替差益	5	—
デリバティブ評価益	12	10
その他	14	19
営業外収益合計	69	121
営業外費用		
支払利息	2	4
為替差損	—	19
その他	7	11
営業外費用合計	10	36
経常利益	999	1,393
特別利益		
固定資産売却益	0	3
投資有価証券売却益	—	15
特別利益合計	0	19
特別損失		
固定資産除売却損	0	5
投資有価証券売却損	—	29
特別損失合計	0	34
税金等調整前四半期純利益	998	1,378
法人税等	284	348
四半期純利益	713	1,029
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	714	1,030

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	713	1,029
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	23
繰延ヘッジ損益	33	△20
為替換算調整勘定	971	339
退職給付に係る調整額	△21	△4
その他の包括利益合計	1,021	338
四半期包括利益	1,735	1,367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,735	1,368
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社、国内連結子会社及び一部の海外連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載しました新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,305	2,864	13,170	—	13,170
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	3	△3	—
計	10,309	2,864	13,174	△3	13,170
セグメント利益	1,122	117	1,240	△300	939

(注) 1 セグメント利益の調整額△300百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,157	3,571	13,729	—	13,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	—	9	△9	—
計	10,167	3,571	13,739	△9	13,729
セグメント利益	1,149	421	1,571	△262	1,308

(注) 1 セグメント利益の調整額△262百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。